

米・Transform Materials 社と低炭素アセチレンチェーン確立に向けた共同研究  
および実証設備導入契約を締結  
～経営計画「Mission2030」のもと、カーボンニュートラル実現を加速～

デンカ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：今井 俊夫）は、アセチレン製造における低炭素化を実現するための技術確立を目的として、米国のベンチャー企業である Transform Materials（本社：米国フロリダ州、CEO：Rachelle Goebel）との共同研究および同社が展開する設備の導入を決定し、5月23日に調印式を実施いたしました。



5月23日に当社と Transform Materials 社で行われた調印式の様子  
写真左：高橋専務、写真右：TM社 Rachelle 社長

当社は2023年度よりスタートした8カ年の経営計画「Mission2030」において、スペシャリティ、メガトレンド、サステナビリティの3要素をそなえた「3つ星事業」を100%にすることを目指しています。また、非財務KPIの一つとして、2030年のCO<sub>2</sub>排出量60%削減（2013年度比）を掲げており、低炭素アセチレンチェーン(\*1)の確立を含むポートフォリオ変革を進めております。

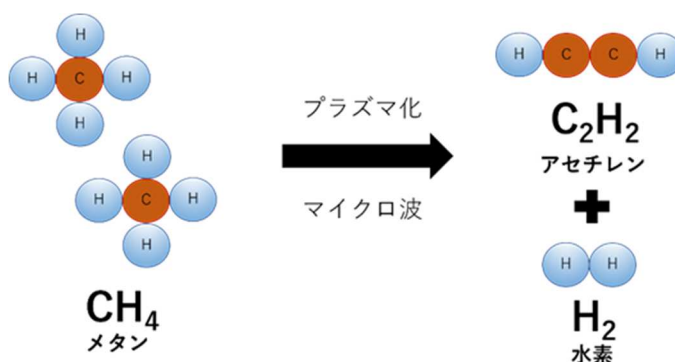
今回、契約を締結した Transform Materials 社は、マイクロ波プラズマを利用したメタン（炭化水素）からのアセチレン・水素製造技術(\*2)を保有する米国のベンチャー企業です。同社が保有する技術は、カーバイドを原料とする既存のアセチレンチェーンから製造されるクロロプレンゴムやアセチレンブラックといった当社主力製品のCO<sub>2</sub>排出量低減に寄与するだけでなく、副生する水素を活用することで、カーボンニュートラルに貢献する新たな取り組みを創出し得る可能性を持っていることから、本契約締結に至りました。当社は、この技術にもとづくアセチレン・水素の製造設備を当社の大牟田工場（福岡県大牟田市）に導入し、本技術の実証とアセチレンの大型量産の実現に向けた技術改良に取り組んでまいります。

なお、当社は、2030年までの8年間合計で850億円の環境投資を計画しております。国内外問わず、サステナビリティに関するさまざまな取り組みを、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて推し進めてまいります。

デンカはこれからも、「化学の力で世界をよりよくするスペシャリストになる」というパーパスのもと、世界に誇れる化学で、人々の暮らしと社会に貢献し続けます。

以上

- (\*1) アセチレンチェーン：アセチレンを原料とした各種製品の生産フロー
- (\*2) マイクロ波プラズマを利用したメタン（炭化水素）からのアセチレン・水素製造技術：天然ガスの主成分であるメタンをマイクロ波によりプラズマ化することで、アセチレンおよび水素を製造する技術。



化学反応イメージ

#### 【投資概要】

- ・投資拠点：大牟田工場
- ・主な内容：Transform Materials 社設備（設備能力 1,600t-アセチレン/年）を実証機として導入
- ・共同研究期間：2023年5月～2028年末
- ・設備稼働：2026年度上期（予定）

#### 【参考：Transform Materials 社概要】

- ・会社名：Transform Materials
- ・本社所在地：アメリカ合衆国フロリダ州
- ・設立：2014年
- ・会長：David Soane
- ・CEO：Rachelle Goebel
- ・HP：[www.transformmaterials.com](http://www.transformmaterials.com)

#### 【参考：大牟田工場概要】

- ・所在地：福岡県大牟田市新開町1番地
- ・製造品目：アセチレンブラック、各種機能性セラミックス、放熱基板など
- ・従業員数：609名

#### 【報道関係者からのお問い合わせ先】

コーポレートコミュニケーション部 電話：03-5290-5511

#### 【お客様からのお問合せ先】

サステナビリティ推進部 電話：03-5290-5518